

令和7年度
地域中小企業人材確保支援等調査・分析事業
(副業・兼業人材とのマッチング)



本事業では、地域貢献意欲が高い副業・兼業人材と地域企業をマッチングし、四国の中小企業の経営課題の解決を図るとともに、地域へ移住しなくても、副業・兼業という形で都市から地方へと「スキルをシフト」させることで地域課題の解決、活性化につなげることを目指しています。このリーフレットでは、過去に本事業を活用された事例を紹介いたします。

事業活用事例 リーフレット



本事業の活用事例紹介 | 1

補助金申請から事業実施まで、副業・兼業人材によるトータルサポート

企業情報



企業名 株式会社 ARTFIT

企業概要 香川県 / 舞台芸術事業、キッズスクール事業
/ 従業員数 10 名

人材募集テーマ 文化庁補助事業の申請・実施・報告

金額 (月額) 50 万円 (総額)

募集背景: 売上向上のため、文化庁の伝統文化体験事業に係る補助金を活用した新規事業を検討していた。しかし、社内のノウハウだけでは実現が難しいため、補助金申請手続きや事業実施の経験を有する副業・兼業人材を募集した。



経緯

- 2024 年 7 月
・人材活用検討開始
- 2024 年 10 月
・人材との交流会
- 2024 年 11 月
・選考
- 2025 年 2 月
・内定
- 2025 年 3 月～
・支援継続中

人材情報



人材について 世界遺産を活用したパフォーマンスアーツの支援
40代 / 東京都在住

人材選定の決め手: 世界遺産を活用したパフォーマンスアーツの補助金・助成金の申請、運営支援の経験を活かした支援に期待ができたため。

取組



補助金申請にあたり、副業・兼業人材の支援のもと、社内でディスカッションを行い、自社の強みを分析した。また、人材が有するネットワークも活用しながら、伝統芸能の体験コンテンツを構築する等、補助金を取得した後の有効な事業実施についても検討を重ねた。

成果



円滑な補助金申請により事業採択に繋がったことで、新たな事業を展開するきっかけになった。また、補助金を活用した新規事業と既存事業を組み合わせた運営が可能となり、シナジー効果も得ることができた。さらに、副業・兼業人材の活用は、既存社員だけでは踏み切れない事業へのチャレンジを後押しし、今後の安定運営の足掛かりになっている。

本事業の活用事例紹介 | 2

副業・兼業人材を活用した製造業務の生産性向上および業務プロセス改善

企業情報



企業名 株式会社名物かまど

企業概要 香川県／和洋菓子の製造販売／従業員数 160 名

人材募集テーマ 菓子製造部門の業務効率化・生産性向上・業務プロセス改善

金額（月額） 時給 5,000 円 + 交通費

募集背景： 従業員の高齢化や中堅層の不足など、人材に関する課題を感じていた。現在の体制でも安定的に製品を製造するための IoT・DX 推進を図るため、工場の生産計画・管理や業務効率化、プロセス改善手法の知識がある人材を募集した。



経緯

- 2024 年 7 月
 - 人材活用検討開始
- 2024 年 10 月
 - 人材との交流会
- 2024 年 11 月
 - 選考
- 2025 年 2 月
 - 内定
- 2025 年 3 月～ 9 月
 - 支援

人材情報



人材について メーカーの製造部門で経験を積み、製造プロセスのコンサル業務に従事
50 代／山梨県在住

人材選定の決め手： 経営層とのディスカッションによる課題抽出を重視した提案があり、会社の状況を鑑みた業務遂行が期待できたため。

取組



副業・兼業人材とともに工場内を確認し、人員配置や製造機器の設定など、業務プロセスの改善点を洗い出した。その際、社員との対話を重ねながら課題を明確化することに留意した。また、製造コストや歩留まりを可視化し、各製品の生産状況を把握した。

成果



現在のリソースでの製造業務の効率化につながっただけではなく、生産管理表の作成により、商品ごとの時間・人などのコストや生産ロスの歩留まりが明らかになったため、今後の製造プロセス（時間や曜日ごとの製造スケジュール等）の検討に繋げている。工場のスタッフに業務改善意識が生まれ、今後の業務改善に向けた基盤ができた。

本事業の活用事例紹介 | 3

副業・兼業人材活用による採用ブランディングの見直し

企業情報



企業名 株式会社岡部機械工業

企業概要 徳島県／製造業、一般機械製造／従業員数 85 名

人材募集テーマ 採用活動・会社事業広報 PR

金額（月額） 10万 ※稼働時間変更に伴い3万／月

募集背景： エンジニアの不足が深刻な課題となっており、当初は副業・兼業エンジニアの活用を検討していた。しかし、希望するスキルや経験を持つ人材とのマッチングが上手く進まなかったことから、人材不足の根本的な解決を図るためには、自社の魅力や働く環境を積極的に発信し、採用力を強化することが重要だと考え、採用活動や会社事業広報 PR に長けた人材を募集した。



経緯

- 2024年7月
・人材活用検討開始
- 2024年10月
・人材との交流会
- 2024年12月
・選考
- 2025年1月
・内定
- 2025年2月～
・支援継続中

人材情報



人材について web マーケティング、空間プロデュース、営業、法律事務所経験など多岐にわたる経験

50代 / 東京都在住

人材選定の決め手： 面接時に自社の課題を解決するための具体的な提案があったため。

取組



採用ブランディングの見直しでは、副業・兼業人材の助言に基づき、ターゲットの明確化を行った。その結果、メインターゲットを「リケジョ（＝理系の女性）」とすることを決定し、柔らかく親近感を生むデザインとなるよう Web サイトをリニューアルした。

成果



採用ブランディングの見直しを通じて、メインターゲットに注目してもらいやすい WEB サイトへとリニューアルすることができた。さらに、副業・兼業人材の支援のもと、会社全体で採用ブランディングの見直しを図ったことがきっかけとなり、社員の採用意識の向上や訴求先の開拓（高専・大学へのイベント参加など）にも繋がる等、中長期的な効果も得ることができた。また、副業・兼業人材の持つネットワークを活かして新規事業の足掛かりをつくることができ、副業・兼業人材の活用が企業成長に繋がっている。